



北部医療センターだより

2023年冬号

HIROSHIMA CITY NORTH MEDICAL CENTER ASA CITIZENS HOSPITAL

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院

〒731-0293 広島市安佐北区亀山南1-2-1 Tel 082-815-5211(代表) <https://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/>

ご自由にお持ち帰りください



今年もやるよ～老若男女を問わず全員集合！ 北部医療センターまつり2023

まずは「北部医療センターまつり2023」を開催するにあたりご尽力いただきました方々、週末の土曜日にも関わらずお祭りにご来場いただきました方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当日は少し肌寒い朝でしたが地域の皆様と一緒に企画運営をさせていただき幸い快晴にも恵まれて5000人を超える来場者で今回も大変な賑わいとなりました。

午前10時から午後3時までの限られた時間ではありましたが、文字通り小さなお子様からご年配の方々まで幅広くご来場いただきました。

病院外のブースでは地元の美味しいグルメコーナーや物産のショップコーナーで長蛇の行列ができました。また、救急車やパトカーなどの展示・撮影コーナー、さまざまな遊戯コーナーなどのイベントも盛りだくさんで地域のお祭りとして楽しく過ごせたのではないかと思います。

病院内のブースでは、病院職員による医療相談や医療機器を使った検査の実演、顕微鏡を使った体の細胞の観察の体験もできました。白衣をまとった小さなお子様の外科医体験、胃カメラに挑戦する内科医体験など微笑ましい姿があちこちで見られました。院内ツアーでは普段は立ち入ることができないヘリポート、リハビリ室や検査室の見学、病院長室にもお邪魔しました。手術室見学では実際の最先端医療機器手術用ロボットを操り、その精巧さに驚かれた方々も多かったのではないのでしょうか。

講堂では医療に関する市民公開講座に加え消防音楽隊、中学校、地元バンドの演奏やダンスステージ、神楽などが華々しく披露されました。

短い時間でしたが関係者の皆様方が周到に事前準備してきたことは全て披露されたのではないかと考えております。

当院は高度急性期病院という立ち位置から近くて遠い病院と揶揄されがちですが、今回のお祭りを通して少しでも身近に感じていただける機会の一助になれば幸いです。

また、次回の機会にお会いしましょう！

まつりだよ！
全員集合ー！



お祭り実行委員長 三田 耕司



病院外のグルメコーナー



内科医体験コーナー



外科医体験コーナー



手術室ツアー（ロボット手術体験）



院内ツアー（ヘリポート）

広島市北部認知症疾患医療センターに指定されました

当院は、このたび広島市から「広島市北部認知症疾患医療センター」の指定を受け、2023年10月より運営を開始いたしました。

認知症疾患医療センターとは、認知症の方または認知症が疑われる方とその家族の相談に応じて、認知症の診療を行う専門医療機関です。かかりつけ医（開業医など地域の医療機関）、介護サービス事業所、お住まいの地域を担当する「地域包括支援センター」と連携しながら、認知症の診断と治療、認知症の方の身体の合併症への対応、専門医療相談などを行います。

認知症についての相談を希望される場合には、お近くの「地域包括支援センター」にお問い合わせいただくこともできます。

認知症という言葉が最近よく新聞やテレビで目にしますが、ご自身やご家族のもの忘れが気になることはありませんか？さっき聞いたことをすぐに忘れて何回も同じことを聞き返す。しょっちゅう置き忘れをする。日にちが分からなくなる。よく薬を飲み忘れる。といったことはありませんか？

以前はできていた趣味、仕事、家事、お金の計算などができなくなっていますか？体調がすごく悪いとか何か特別な原因があれば別ですが、普段通り生活して元気そうなのにももの忘れや気になる症状が続く場合には、初期の認知症を発症している可能性があります。

認知症かもしれないので調べてもらいたい場合には、一体誰に相談すればよいのでしょうか？

答えは、いつも診てもらっているかかりつけ医です。

多くの認知症の方を毎日診療されており、自身の専門分野は違っても認知症についてよく勉強をされており、検査が必要な場合には「広島市北部認知症疾患医療センター」や専門医療機関に紹介してもらえます。何でも困ったことがあれば迷わずに、まずは、かかりつけ医に相談しましょう。

わが国の認知症患者数は2025年には700万人に達し、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると推定されています（厚労省）。認知症は放ってはおけない脳の病気です。

認知症の診断法は確実に進歩しており、より正確な診断ができるようになっていきます。どんな病気でも同じですが、認知症も早期発見、早期対応が極めて重要です。

かかりつけ医がなく、もの忘れや気になる症状があるのでどこかに相談したいけど、どこに相談すればよいかわからない方は、「広島市北部認知症疾患医療センター」にご相談ください。

早期発見
早期対応を



脳神経内科 主任部長
広島市北部認知症疾患
医療センター
センター長 山下 拓史

専用電話

082-815-5299

相談日

月曜日～金曜日（祝日・8月6日・年末年始を除く）

相談時間

午前9時～12時 午後1時～4時30分
（午後は面談のためお待たせすることがあります）



初期臨床研修医のご紹介

2004年度から新臨床研修医制度が必修化され19年が経ちました。

今年度は新臨床研修医制度20回生となる初期臨床研修医9名が当院に赴任し、広島大学病院からたすぎけ研修で赴任した2年目研修医2名と歯科研修医1名と併せると21名の若者が当院の初期臨床研修医として皆様の診療にあたっております。いずれも明るくモチベーションが高い若者ばかりです。

また、私ごとではありますが今年度より初期臨床研修プログラム責任者を拝命いたしました。誇らしくもあり、しかし責任者1年生として研修医と共に奮闘しているところです。現在、研修医2年生は1年以上当院の厳しい研修環境で耐え抜き、自分の将来像を決めている時期です。

また1年生も医師となり半年以上が経過し成長著しい時期となりました。

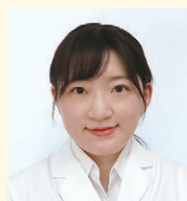
まだまだ学ぶ身ではありますが、共に仕事をするパートナーとして非常に頼もしくなっております。大きな可能性を秘めた研修医と接していると自分も刺激になりますし、それをサポートする身として改めて責務を自覚するところです。

この初期臨床研修医の中には将来さらに成長して安佐市民病院に帰ってくるものもいます。未来の安佐地区、日本を支える医療者を育てるべく、地域の皆様の温かい見守りをいただけると幸いです。

温かい見守りを
お願いします



初期臨床研修プログラム
責任者 青山 大輝



武田 ちなみ

4月より安佐市民病院で研修させていただいております、大分大学出身の武田ちなみと申します。素敵な先生方に御指導いた

だき、充実した研修生活を送らせていただいております。まだまだ至らぬ点多いと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



松井 将太

4月から安佐市民病院で研修させていただいている広島大学出身の松井将太と申します。至らないところばかりではありま

すが、少しでも地域のお役に立てるよう、日々精進してまいります。ご指導よろしくお願いたします。



新見 雅志

今年度より安佐市民病院で研修させていただいております、広島大学出身の新見雅志と申します。まだまだ未熟で至らない点

ばかりかとは存じますが、精一杯業務に励んで参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



橋本 侑樹

今年度より当院で研修させていただいております、愛媛大学出身の橋本侑樹と申します。未熟な点も多いですが、少しでも良

い医療を提供できるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。



内田 直幸

4月から安佐市民病院で研修させていただいております、広島大学出身の内田直幸と申します。ご縁があり、自身の祖父母がお

世話になった当院で充実した研修生活を送らせていただいております。地域の皆様に貢献できるよう誠心誠意努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



横山 英里

4月より安佐市民病院で研修させていただいております、初期研修医1年目の横山英里と申します。地域の皆様のお力になれ

るよう、一生懸命努めてまいります。至らぬ点もあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



丸谷 凌平

4月から当院で研修させていただいております、広島大学出身の丸谷凌平と申します。生まれも育ちも可部

であるため、少しでも地元の医療に貢献しながら成長したいと考え、故郷に帰ってきました。至らぬ点多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



佐藤 菜乃初

4月より当院で研修させていただいております、金沢大学出身の佐藤菜乃初と申します。当院の先生方は教育熱心なので、とても

充実した研修生活を送っております。至らぬ点も多いですが、これから多く活躍できるように日々頑張っていきたいと思ひます。



村上 真央

4月より当院で研修させていただいております、村上真央と申します。まだまだ未熟な点ばかりですが、ひとつでも皆様のお役に

立てることが増えるよう、誠心誠意励んで参ります。よろしくお願いいたします。

LINEで使える入院支援サービス「ポケさぼ」導入について

＼新サービス導入です！

入退院支援室入院部に入院説明検査説明に来られる患者さんは、毎日40～50人程度いらっしゃいます。「待ち時間が長い」「入院説明を受けただけで、覚えていないこともある」などみなさんからの言葉や電話でのご質問を受けることがあります。

どうしたら改善できるか考え、2023年9月より「ポケさぼ」サービスの導入を始めました。「ポケさぼ」は繰り返しいつでも・どこでもなんどでも説明を受けること(見ること)ができるサービスで、日常的に高頻度で接しているLINEで提供しています。

入院案内、検査案内における患者説明を動画やメッセージを用いて行います。従来は患者さん個別に対面かつ口頭で行っていた説明を、アプリ配信に切り替えとなります。

例えば、お買い物中に入院の持ち物リストがスマホで見られる動画で入院生活のしおりが何度も見返せる、入院前の準備を確認できるといった点がスムーズに行え、入院までの不安を少しでも和らげるシステムであると考えます。患者さんのみならず、ご家族のみなさんも登録していただき一緒に確認できるシステムです。

これからもみなさんから「このツールがあって本当に良かった」「何度も見ることで安心して入院することができる」など笑顔で言ってもらえるよう、入退院支援室入院部スタッフ一同、入院説明がスムーズに行えるよう努力していきたいと思えます。「ポケさぼ」導入は、入院説明を受けに来られた際にご説明させていただきます。いつでも入退院支援室入院部までお問い合わせください。



医療支援センター
入退院支援室 看護師長
大橋 美弥子



入退院支援室 入院部スタッフ



入院準備を
LINEで
サポートします

友だち登録
をお願いします

LINEアプリでQRコードを読み取ると
友だち登録できます。
※通信費に關しましては、
利用者のご負担となりますのでご了承ください。

友だち追加

入院日 月 日 ()

友だち登録いただくと…

01 入院まで
のご案内が動画
で届きます

02 資料を
いつでも
見返せます

03

- 登録日から入院予定日
7日後まで、期間限定で
病院とつながります。
- LINEアカウント名は
病院に通知されません。
- 登録した氏名等の
個人情報LINEトーク
上に残しません。

地方自治体指定入退院支援室 広島市立北部医療センター 安佐市良病院
Hiroshima City North Medical Center Anjo City Hospital

心臓病教室

心不全看護認定看護師 小林 志津江

10月より「心臓病教室」を再開しました！心臓病教室は、病気を悪くしないために自分の体を管理する方法について学んでいただくところです。心臓病の人にもそうでない人にもあてはまる健康を保つためのコツをお伝えしています。どのようなことに役立つかはその人ごとに違うかもしれませんが、病院スタッフとの距離を縮めて頂き、なんでも相談できる場にしていきたいと考えています。

1/11	「心臓の病気について」医師
2/8	「心臓によい日常生活を送ろう。」慢性心不全看護認定看護師
3/14	「心臓が悪くても運動しよう。」理学療法士

がんサロン

がんサロン「すずらん」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していましたが、この4月より毎月第3木曜日に再開しました。がんサロン「すずらん」は、がん患者さんやご家族を対象に医師や薬剤師、心理士などが講師となり、勉強会やおしゃべり会、さらに悩みや体験などを語り合う場としています。皆様のご興味を引くテーマとしていますので是非ご参加ください。

1/18	大切にしたい！「がん治療とこころのケア」(仮) 公認心理師・臨床心理士 宮森 迪子 さん
2/15	聞いてみよう！「訪問診療」(仮) 福井内科医院 福井 康人 医師
3/21	もっと知りたい！「がんの痛みに使ってお薬の話」 薬剤部 がん専門薬剤師 古谷 智裕 さん

PICK UP!

公式YouTubeチャンネル

最新の技術紹介やWEB講演会などの医療従事者向けの動画だけでなく、施設紹介や検査の流れなど当院を受診される患者様や受診を検討されている患者さんの役に立つような動画を発信しています。



PICK UP!

公式Instagram

皆さまに親しまれる病院を目指し、院内や院内スタッフの活動、季節の風景、イベントの様子など、当院の特徴や魅力などを随時発信しています。あたたかい「フォロー」&「いいね」お待ちしております。

